

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	医療安全		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	3年教室、実習室他
担当教員	谷口 雅江 中原真理子	実務経験と その関連資格	国立病院で看護部長として永年看護管理全般業務に携わり、医療安全管理者としても業務をしていた(谷口)			
《授業科目における学習内容》 医療安全の概略を捉え、医療安全の根本にある原理について理解できる。実際の医療安全の提供のあり方(各個人・チーム・組織)やチーム編成や規模的に見た組織としての取り組みを学び学んだ知識を統合して、具体的な事例について原理原則を演繹的に用いてディスカッション、チームで協働しながら基礎的能力を養う。医療安全の視点で、看護技術が実践できる。						
《成績評価の方法と基準》 授業での姿勢(10%)、グループワークでの参加状況(10%)、発表(準備を含めて)10%、レポート・確認テスト(20%): 谷口 看護技術(レポート・技術点、演習参加状況含めて)30%、確認テスト20%): 中原						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書: 医学書院『系統看護学講座 統合分野 医療安全』 医学書院:『医療安全ワークブック』が中心、配布資料なし 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院						
《授業外における学習方法》 事前の予習、復習(特に講義の範囲を纏める、読んでおくなど)、看護技術においては自己で演習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》 前回の講義や看護技術の復習を確実にすること。グループワークでのリーダーシップ、メンバーシップを発揮し、自主的に学習しましょう。 看護技術チェックがあります、自己学習や自己演習で積極的に身につけましょう!						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全を学ぶ意義が説明できる(谷口)	シラバス、教科書	シラバス・教科書の範囲を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	授業の進め方、シラバスの説明(谷口・中原)			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	医療安全の視点からみた療養環境 環境防止、医療廃棄物について			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	事例展開①ケア時の事故と管理			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	事例展開①ケア時の事故と管理			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	事例展開② チューブ類に関する事故とその管理			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	事例展開② チューブ類に関する事故とその管理		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	誤薬防止、誤認防止		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医療安全の視点から看護技術を実践できる(中原)	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	転倒、転落防止		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	業務領域を超えて共有する間違いと発生原因について理解できる(谷口)	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	業務領域を超えて共有する間違いと発生原因について、具体的事例を通してグループワークで深めて理解する(谷口)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全とコミュニケーションの関係を学び組織的な安全体制への取り組みや安全対策の展望について自己の考えを説明できる(谷口)	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	医療安全とコミュニケーションの関係を学び組織的な安全体制への取り組みや安全対策の展望について説明し理解する。(谷口)		
第11回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで事例を通して医療安全の知識・技術を理解する事が出来る。①	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	グループワークで事例を通して原理原則を演繹的に用いてディスカッション、チームで協働しながら基礎的能力を養う。		
第12回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで事例を通して医療安全の知識・技術を理解する事が出来る。②	教科書・医療安全ワークブック・PC	プロジェクト学習について、進め方などグループで意見を出し合っておく
		各コマにおける授業予定	グループワークでプロジェクト学習を行う①(谷口)		
第13回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで事例を通して医療安全の知識・技術を理解する事が出来る。③	教科書・医療安全ワークブック・PC	プロジェクト学習について、進め方など修正・変更等しグループで意見を纏めておく。発表の準備
		各コマにおける授業予定	グループワークでプロジェクト学習を行う②(谷口)		
第14回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで事例を通して医療安全の知識・技術を理解する事が出来る。④	教科書・医療安全ワークブック・PC	プロジェクト学習について、進め方など修正・変更等しグループで意見を纏めておく。発表の準備
		各コマにおける授業予定	グループワークでプロジェクト学習を行い、学習成果を発表する(谷口)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全対策の国内外の潮流が理解できる。	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習
		各コマにおける授業予定	医療安全としてのまとめ・確認(谷口)		